

年 組 名前:

問1

山中湖おもてなしの会は、何のために、どのような活動をしていますか。

・何のため

.....
.....
.....
.....

・どのような活動

.....
.....
.....
.....
.....
.....



山中湖おもてなしの会が設置した「焚き火テラス」 ー山中湖村平野

つなげる 支える

<17>

山中湖村の住民有志でつくる「山中湖おもてなしの会」は、村を訪れる観光客に気持ちよく過ごしてもらおうと、ごみ拾いなどの環境美化や、イベント会

山中湖おもてなしの会

(山中湖村)

観光客 快適な滞在を



赤池 悠、武田 寛明、森 航平(富士北麓) 飯野 将平(大月・上野原) 森 航平(都留)

場への休憩所の設置といった活動に取り組んでいる。2013年に高村直喜代表(47)ら4人で結成。「きれいな山中湖で観光客を迎えたい(高村代表)と、湖畔や道路でのごみ拾いや草取りなどの活動を始める」と、徐々にメンバーが増え、現在は観光業、会社員、大工などさまざまな職業の約20人が所属している。環境美化活動を進める傍ら、4年前からは村内で開催されるイベントに合わせた取り組みもスタート。村内で17日まで開催中の「山中湖 夕焼けの渚 紅葉まつり」では、会場を訪れる観光客がたき火で暖を取りながら紅葉を鑑賞できるように「焚

き火テラス」を設置。訪れた人が冷えた手を近づけたり、焼いたマシユマロを味わったりしている。9月に開かれる山中諏訪神社の「安産祭り」では昨年からはみこしが巡行するルート沿いで親子らが休めるよう、無料休憩所となるテントを設けたり、おむつ交換や授乳のためのスペースとしてコンテナを開放したりしている。高村代表は「豊かな自然が村の魅力。寒さや不便さもあるが、観光客によりくつろいでもらえる環境をつくりたい」と力を込める。メンバーは現在、国内の観光地を視察するなどして新たな活動を検討しているという。村の自然を生かして木材に親しんでもらう「木育」の活動も候補の一つだ。高村代表は『もう一度山中湖に行きたい』というリピーターを増やすことを目標に、活動を続けていきたいと先を見据えている。(武田寛明) 第1、3土曜日に掲載します

(2024年11月2日付 山梨日日新聞 15面)

問2

山中湖おもてなしの会は、「山中湖 夕焼けの渚 紅葉まつり」で、何を設置しましたか。

.....

問3

メンバーは、次の活動の候補として、何を考えていますか。

.....